

令和元年度 第2回 根室市市政モニター会議【記録】

1. 日 時 令和元年8月27日（火）午後6時30分～午後7時45分

2. 場 所 根室市役所 3階 大会議室

3. 出席者【市政モニター】 11名

【市 側】 5名

総務部長、総務課長、総務主査、広報広聴主査、広報広聴担当

4. 会議詳細

(1) 開会（総務課長）

(2) 以下、質疑応答・意見交換

○広報広聴主査

前回会議で今年度の市政モニター会議は根室市役所本庁舎を「建替え」により整備すべきと判断いただいたところだが、その後、市政モニター会議の意見も踏まえ、市としても庁内の検討会議により「建替え」により整備すべきと判断したところである。

今回会議では、事前案内のとおり「新庁舎に必要な機能」について皆さんにご意見をいただきたい。

●モニター（F）

前回会議でも話に上がったが、新庁舎にはぜひ展望台を設けていただき、それに併せて、北方領土問題啓発施設を作っていただきたい。啓発施設では最先端のデジタル機器を使い、目や耳で体感できるブースを作り、誰もが驚く施設とすることで、返還要求運動原点の地の基地として広く知られ、その役目を果たすと考える。

根室市民は戦後70年以上、第一線に立って領土返還を訴えてきた。今後も領土問題・返還要求運動を後世に伝えていくために、新庁舎には啓発施設の機能を持たせて、国としてもお金の面で協力するよう官民一体となって国に対して強く呼びかけていくべき。

また、予算の都合からコンパクトな造りにすべきとの声もあるが、働く場所が狭ければ、人の心も窮屈になると考える。職員が働きやすく、良いアイデアが浮かんでくるようにするためにも、ゆったりとした余裕のある執務環境で働ける庁舎になればと思う。

●モニター（D）

私は市役所に入ってまず明るい雰囲気のあるホールに入りたいと思う。新庁舎では、例えば展示物があったり、BGMが流れていたりするなど、市民の憩いの場となるようなホールを作っていただきたい。

また、予算的・スペース的制限があるのは分かるが、ただの四角い箱のような建物ではなく、かつての公会堂のように素晴らしい外観にして、当麻町の新庁舎のように市外でも話題になる庁舎になればと思う。

ランニングコストにも目を向けると、ゼロ・エネルギー・ビル（消費するエネルギーを減らし、太陽光発電などで建物自身がエネルギーを生むことでエネルギーの収支をゼロにする建築物）を目指すのも一つの方法だと思う。

●モニター（K）

例えば駐車場にミニチュアの四島の架け橋を作るなど、根室市のシンボルとなるようなものを庁舎に併設できれば良いと思う。

庁舎については中を吹き抜けにして開放感を感じさせる造りにする一方、相談窓口のプライバシー保護にも気を使っていただきたい。食堂など市民が休憩できるスペースを入口近くに設置し利用しやすくしたほうが良い。バリアフリー化はもちろん、市内循環バスが駐車場に入れるようにすることで、高齢者の利便性向上につながると考える。

また、現在の議場は議会以外に使用できないものであり、机・椅子を可動式にするなどし、議場を多目的ホールとしても併用することも検討してはどうか。

そのほか、喫煙スペースについては、慎重な検討をすべきと考える。

●モニター（J）

駐車場をかなり広いものにして、駐車場としてのほか、イベントの開催や災害時には避難所等として活用できるスペースにできれば良いと考える。

また、ホールをきれいなラウンジのようにして市民の交流スペースを作っていただきたい。

●モニター（L）

欠席のモニターからの意見も預かっている。まず、現在は大地みらい信用金庫のATMのみが設置されているが、その他の金融機関のATMも設置いただければ、とても便利。また、市内で車いす利用者が入りやすい食堂は限られており、新庁舎では車いす利用者が入りやすい食堂を作っていただきたい。高齢者からは分かりやすい案内板または総合案内窓口を設置してほしいという話も聞く。

●モニター（I）

市民が来たことが分かりやすい席の配置や収納の充実など実際に働く職員が働きやすい建物の造りとすることで、仕事の効率が上がり、結果として市民サービスの向上につながると考える。

エレベーター、エスカレーター、スロープ、多目的トイレ、おむつ交換スペースの設置や段差をできるだけなくし、バリアフリー化にも努めていただきたい。ほかのモニターからも意見があった市民の休憩交流スペース、分かりやすい案内板、総合案内窓口、広い駐車場は必要。市立病院のようなボランティアの案内人がいればとても便利だと思う。

●モニター（A）

一階ホールの充実化を図っていただきたい。展示コーナーを設けるほか、観光案内人を配置しても良いと思う。また、現在は図書館も老朽化しているところであり、新庁舎のホールには図書館機能を加えることで、幅広い年代の人が入りやすくなり、市役所に慣れ親しむ機会となると思う。

そのほか、空いている会議室などを一般の方に貸し出しして使用料を取ることや同じく老朽化している振興局を新庁舎に入れることを検討してはどうか。

●モニター（C）

車いす利用者は車の乗り降りに大変苦労していると聞く。新庁舎には広い駐車場と雨風をしのげる屋根付きの車いす利用者専用の駐車スペースを作っていただき、アーケードのようにし、玄関までひさしが続くようにしてはどうか。

また、残念なことに健常者が優先駐車場を使っている現状があることから、車いす利用者にカードを発行するなど、本当に利用したい人が利用できるような工夫が必要だと考える。

●モニター（B）

展望台を設けるという意見には賛成。加えて展望台からは地図や写真などを使い、北方領土の位置が分かるようにすると良いと思う。

また、食堂については現在のように地階ではなく高い階に作り、帯広市役所のように景色を楽しみながら食事をとれる展望レストランのような食堂を作っていただきたい。

●モニター（E）

市役所は災害時の拠点施設となることから、防災機能の強化を図っていただきたい。非常電源・燃料などを十分に確保するほか、災害時に備え通信設備を集積した防災専用の部屋を作り、港や被害が起こりやすい場所をモニターで監視できるようにすることで、災害時に素早く被害状況を確認でき、スムーズな指揮ができると考える。

そのほか、展望台を作るとしたら、四島交流後の記者会見場など現在、千島会館が果たしている役割を持たせても良いと思う。

●モニター（G）

庁舎に入ってすぐに、子どもから高齢者まで、また、障がいのある方、職員も含めて市民みんなが集まり、お茶をしながら休憩できて、交流を深められる喫茶店のようなスペースを作っていただきたい。そこには子どもが遊べる場所も作り、子育て世帯にも役立てていただきたい。

売店も地階ではなく1階に作ることで市民も利用しやすくなるのではないか。

また、障がい者が一人でも用事を済ませられるような障がい者にも優しい造りにすることはもちろん、特にお金に関わる窓口ではプライバシー保護などにも十分気を使った造りになれば良いと思う。

○総務課長

一通りモニター皆様のご意見をいただいたところだが、現在の庁舎のここを改善すべきといった内容でもう少し意見をいただきたい。

●モニター（C）

現在の窓口（職員の席）は来庁者に対して、横向きもしくは後ろ向きになっていて来庁者に気づきにくい造りとなっている。中には待ち構えられているようで嫌だという市民もいるかも知れないが、新庁舎では来庁者に対して職員が正面を向いた配置にしてはどうか。

●モニター（B）

現在は正面玄関から入ると、左右に窓口が分かれていて非常に分かりにくい。入ったら奥に窓口が広がっていくような造りにしていただきたい。

●モニター（A）

今の市役所には用事がなければ行かない。幅広い世代が集まり交流できるスペースを作り、子どもたちが幼いころからたくさんの人とふれあい、市に親しみを持つきっかけとなる場としての庁舎にすることで、将来、地元に残る大人が増えることにつながると思う。

●モニター（J）

現在は職員と相談・打合せできる個室の部屋がなく、結局、立ち話になってしまう。新庁舎では個別の応接室を作る必要があると考える。

●モニター（C）

以前、福祉の個室で相談したことがあったが、部屋数が少ないと感じた。

●モニター（E）

今は、庁舎内が非常に暗い。太陽の光を取り込めるような造りにしてもいいと思う。

●モニター（F）

吹き抜けは良い面もあるが、掃除など管理が難しい面もあるほか、冬期は暖房効率が悪いので地域性に合わないかも知れない。

○総務主査

新庁舎に必要な機能として、市民が用事がなくても集まる交流の場のような機能というご意見が多いようだが、現在、市内にそのような場所はあるだろうか。

今後、市内に限らず参考になる場所があれば、ぜひ教えていただきたい。

●モニター（C）

中標津の保健センターは窓口の向かえにふれあいコーナーが設けられており、中には障がい者施設が活動するスペースがあったりと、いろいろな役割が一体化している施設なので、参考になるかも知れない。

○総務主査

今の庁舎でこれだけは残すべきだと思うところはあるか。
(意見なし)

○総務課長

ご意見が出揃ったようなので、会議を閉会したい。今回いただいたご意見は事務局にて取りまとめて、次回会議前に提示したい。

次回は10月に開催を予定し、「新庁舎の建設場所」について皆さんのご意見をいただきたい。

○広報広聴主査

「場所」については実際の市有地などにとらわれることなく話し合っていたきたいと考えている。

(3) 閉会

5. その他

今回会議で出された「新庁舎に必要な機能」に関する意見は欠席者からの書面での意見と併せて事務局で集約し、「提言書(案)」として次回会議前にモニターに確認いただくものとする。

次回会議では前段に「新庁舎の建設場所」について議論いただき、後段にて「提言書(案)」に「新庁舎の建設場所」についても加え、最終的な提言書を取りまとめることとする。